博士（医学）の学位申請について

1. 提出資格

次の（1）～（3）のいずれかと（4）の項目を満たすこと

※休学中の者は学位論文審査に申請できない。

（1）（早期課程修了）

早期課程修了の資格が承認されていること。

必ず学位論文申請前に承認を受けること（早期課程修了の資格審査について参照）。

（2）（博士課程 4 年次）

医学研究科博士課程に 4 年 0 月以上在学して所定の単位を修得し、引き続き在学中の者。

（3）（単位修得退学者）

博士課程に 4 年 0 月以上在学し、所定の単位を修得後、退学した者で退学後 1 年以内の者。（ただし、学年末もしくは学期末付退学者）

（4）外国語の学力確認を取ること

4.（2）外国語の学力確認により行うこと。ただし外国人留学生（母国語が英語でない者）は入学試験をもってこれに代える。

2. 学位論文の要件

次の（1）～（3）の項目を全て満たすこと

（1）原著論文であること。

（2）単著論文であること。

単著論文とは著者が 1 人の論文のこと。

ただし、共著論文（著者が複数の論文）の場合でも別途手続きをし、審査に合格すれば学位論文として申請できる。「3. 共著論文による学位申請に関する取扱い」を参照すること。

（3）専門学術誌※に公表された論文であること。

掲載証明書を添付した校正刷りまたは、投稿論文の原稿も学位論文として申請できる。

ただし、論文別刷りが完成次第、学務課へ 1 部提出すること。

※専門学術誌：原則として、学位申請時に PubMed, Science Citation Index Expanded, SciFinder Scholar のいずれかに採用されているもの。あるいは大阪市医学会雑誌、Osaka City Medical Journal。

3. 共著論文による学位申請に関する取扱い

次の（1）～（6）の要件を満たす場合に限り、研究科教授会の議を経て学位論文とすることができる。

（1）英文であること。

（2）専門学術誌※に公表された論文であること

※専門学術誌：原則として、学位申請時に PubMed, Science Citation Index Expanded, SciFinder Scholar のいずれかに採用されているもの。あるいは大阪市医学会雑誌、Osaka City Medical Journal。

（3）学位申請者が当該論文の筆頭著者であること。

（4）他の共著者が、次に揚げる事項について承諾書を提出していること。

ア 学位申請者が当該論文を学位論文として本学に提出すること。

イ 他の共著者が当該論文を自己の学位論文として使用しないこと。

（5）学位申請者が、当該論文に係る研究において自ら担当した部分をまとめた論文形式の報告書（邦文で 800 字程度とする。）を作成し、その研究及び論文作成において中心的な役割を果たしたことを明確にしていること。

（6）共著者に、研究を直接指導した教員（本研究科教授、研究教授及び学位指導ができる准教授）が含まれていること。

4. 学位申請から学位授与までの流れ

（1）学位審査日程・外国語試験実施日程

1）日程表は、https://www.omu.ac.jp/med/graduate/formalities/からダウンロードすること。

大阪公立大学医学研究科ホーム ＞ 大学院 ＞ 学位申請

2）審査対象者（早期課程修了、博士課程 4 年次、単位修得退学者、論文博士）によって申請できる日程が異なるため、間違えないように注意すること。
3）論文受付後のスケジュールは、指導教授・主査・副査の都合により変更になる場合があるため、学位申請時に登録したメールアドレスは頻繁に確認すること。

（2）外国語の学力確認
次の 1)・2）の項目のいずれかを満たすこと
1）外国語試験に合格すること（何年次でも受験可）。
・ 受験申込方法は、外国語試験実施日程表参照
・ 試験科目は、英文和訳（筆頭試験 2 題）（90 分）および和文英訳（筆頭試験 2 題）（90 分）
・ 過去の試験問題は、学務課にて閲覧可
2)次の条件を満たす外部試験の公式スコアを提出すること。
・ 対象となる外部試験については次表参照
・ 入学 2 年前以降に取得したものであること
・ 提出書類については写しでも可

対象となる外部試験、必要スコアおよび提出書類一覧

外部試験名	必要スコア	提出書類
TOEIC Listening & Reading 公開テスト	Lisning & Readingの合計550以上	公式認定証 デジタル公式認定証
TOEIC Listening & Reading IP テスト		スコアレポート（個人成績表）
TOEFL iBT	42以上	スコアレポート
IELTS アカデミック	4.0以上	IELTS 成績証明書
IELTS オンライン	4.0以上	IELTS 成績証明書
実用英語技能検定（英検）	CEFRレベル B1以上	合格証明書、 英検CSEスコア証明書、 個人成績証
英検 S-CBT		
英検 S-Interview		

（3）学位申請書類の事前確認
論文受付開始日の５営業日前までに、以下に指定する書類（データ）をそれぞれ担当部署に送付し、承認を受けること。
様式は、https://www.omu.ac.jp/med/graduate/formalities/からダウンロードすること

送付先	大阪市医学会	学務課 （大阪市医学会承認後に）
メールアドレス	gr-med-shiigakukai@omu.ac.jp	gr-a-gakumu-med@omu.ac.jp
送付する書類	・抄録	・学位授与申請者調書 ・学位論文全文データ（published ver.） ・論文目録 ・論文内容の要旨 ・抄録（市医学会の承認を得たもの） ・学位記筆耕原稿 ・論文内容の要約

備考	承認を受ける順番 大阪市医学会 ↓ 学務課	・各書類の論文題目は、必ず大阪市医学会で承認された表記に統一すること。ただし、「学位記筆耕原稿」および「論文内容の要約」に関しては、論文原題の表記としてもよい。 ・論文受付までに修正が生じた際は、必ず再承認を受けること。 ・機関リポジトリ公開は、本データを使用するため、論文受付時に提出するものと必ず一致させること。

（4）論文受付（学位申請書類の提出）
論文受付期間に、指定された提出場所に提出すること。
4.（3）事前確認で提出した書類は、必ず承認を受けたもので準備すること。

1）提出書類
・様式は、https://www.omu.ac.jp/med/graduate/formalities/からダウンロードすること
・提出書類の差し替えは受け付けません。よく確認し、必ず研究指導教員（教授、研究教授、学位指導ができる准教授等）の承認を得てから提出すること。

	書類名	印刷物必要数	説明
①	学位授与申請者調書	不要	事前確認の際にデータで提出すること
2	課程修了認定願	1 部	所定の様式の右上に指導教員（教授、研究教授、学位指導ができる准教授）の印が必要。 ※研究教授・学位指導ができる准教授とは、専任教授が不在の分野において大学院生に対して研究指導が認められた教員です。専任教授が在籍している分野は不要です。
③	学位論文 全文データ（published ver.）	4 部	全文を印刷して提出すること。（原則両面印刷） 雑誌未掲載の論文は、掲載証明書、アクセプトレターがあれば、原稿で申請可能です。 全文データは事前確認時に提出すること。 申請時に未掲載の場合は、**公開され次第データを提出すること**。
4	掲載証明書、 アクセプトレター	1 部	学術誌未掲載の場合は、必ず提出すること。 掲載済みの論文の場合は不要。
5	参考論文	1 編につき 3 部	ある場合のみ提出。参考文献ではなく、学位論文に関連した論文で、必ず本人が著者となっている、公表済みの論文。 早期課程修了者は副論文を参考論文とすること。
⑥	論文目録	1 部	
⑦	論文内容の要旨	110 部	
⑧	抄録	2 部	
9	共著論文による学位申請に関する審査願	1 部	単著論文の場合は不要。 筆頭著者であっても共著者がいる場合は必要です。 「承諾書」は、全共著者の承諾が揃っていれば、複数枚になってもよい。
10	承諾書	1 部	
11	報告書	1 部	

⑫	学位記筆耕原稿	不要	事前確認の際にデータで提出すること
⑬	論文内容の要約	不要	事前確認の際にデータで提出すること
数字に〇がある書類は、事前確認を受けること。4.（3）学位申請書類の事前確認を参照。			

※論文内容の要旨：論文審査用に作成した要旨
※論文内容の要約：一般公開用に作成した要旨
論文の全文に代わり、主要な点を明らかにするために不必要な部分を削って文章をまとめたもので論文全体の内容が充分に推測できるもの（字数制限なし）。

2）受付期間
・学位論文審査日程を参照すること。
・受付期間以外では受け付けないので注意すること。
3）提出場所　学務課（医学部学舎 1 階）

（5）審査委員会設置（主査・副査の選出）
1）論文受付期間終了後、指導教授の推薦に基づき審査委員（主査・副査）を研究科教授会で決定する。申請者は出席不要。
2）主査・副査の決定後、翌日以降に申請者宛に論文審査会のスケジュールを送付する。

（6）論文審査会（大阪市医学会発表）
1）論文の受付をもって大阪市医学会・例会の受付も兼ねる。
2）原則 13：30 以降の実施を予定。ただし、学位申請受付人数により、午前～20：00 頃まで実施する場合がある。
3）審査会の日程は、審査委員（主査・副査）からの申し出により変更になる場合がある。
4）審査時間（1 人あたり）

	時　間	ベルが鳴る時間
発　　表	10 分	8 分
質疑応答	15 分	10 分
合　　計	25 分	25 分

5）発表用のパソコンは各自で準備すること。
6）パソコンとプロジェクターの接続確認は、審査会開始前に時間を設ける。時間はスケジュール送付時に連絡する。

（7）論文審査（合否判定）
1）研究科教授会において、合否判定を行う。申請者は、出席不要。
2）翌日以降に判定結果をメールにて連絡する。

（8）学位記校正
論文審査（合否判定）後、学位記の原稿が整い次第、校正を送付する。指定期日までに確認し、修正がある場合は、速やかに申し出ること。確認期間は非常に短いので学位申請時に登録したメールアドレスは頻繁に確認すること。

（9）修了認定（早期課程修了・4 年次生）
1）研究科教授会（9 月、3 月）において、博士課程の修了認定を行う。修了に必要な単位は 30 単位以上で更に専攻やコースごとの詳細要件がある。
2）翌日以降に認定結果をメールにて連絡する。

（10）進路調査（早期課程修了・4 年次生）
1）博士課程修了後の進路調査を行う。
2）調査票は、（9）修了認定の結果通知時に合わせて送付するので、必ず回答すること。

（11）学位記授与式

学位記授与式は、9 月下旬と 3 月下旬に実施されるため、論文審査（合否判定）・授与認定後、直近の日程が対象となる。詳細は決定次第メールにて連絡する。

（12）在学中の最終論文受付期間までに学位申請できなかった場合の単位修得退学について

単位修得退学となるためには、次の 1)～3)の項目をすべて満たすこと

1)学年末または学期末退学者であること。

2)退学日において在学 4 年 0 月以上であること。

3)所定の単位を修得していること。

※修了に必要な単位が取得できていない場合は、単位修得退学はできない。

論文審査スケジュールは、学位論文審査日程を参照すること。

なお、退学日までに論文がアクセプトされ、退学直後の審査会にて合格したものは退学日に遡及して課程修了となり、課程博士の学位となる。その他の者は大阪公立大学論文博士の学位となる。

（13）学位論文の保管について

1)学位論文申請時に、校正刷りもしくは原稿で申請した場合は、学術誌に公開され次第 published ver. の学位論文全文データを学務課まで提出すること。

2）論文保管場所（大阪市立学位授与者のみ）：国会図書館、大阪公立大学阿倍野医学図書館

3）学位論文審査の翌年度中に published ver.の提出がない場合は、校正刷りもしくは、原稿のまま保管となる。

（14）論文公開について

1）大阪市立大学学位授与者について

以下の内容を大阪市立大学機関リポジトリで公開する。

http://dlisv03.media.osaka-cu.ac.jp/il/meta_pub/G0000438repository

・論文審査結果の要旨

・論文内容の要旨

・論文内容の要約

2)大阪公立大学学位授与者について

大阪公立大学では、**学位授与を行う学位論文に関して**、**本学公式ウェブサイト内の学術情報リポジトリにおいて公開**する。

◆学位（博士）を取得される方へ　https://www.omu.ac.jp/research/promotion/doctor/

◆大阪公立大学学術情報リポジトリ　https://omu.repo.nii.ac.jp/?page_id=13

手続きの詳細は学位授与認定後にメールにて連絡する。